

令和6年度の重点課題

● 情意面での課題

○女子

「運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌い」と答える児童の割合は、28.56%だった。（前年度比+8.56%）（第5学年女子）

○共通

「休憩時間にはよく外で遊んでいますか」という質問に否定的な回答をした児童は、37.7%だった。（1～6年）

● 体力面での課題

○男子

「握力」「長座体前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている。（第5学年）

○女子

「握力」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より劣っている。（第5学年）

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○運動が好きな児童を増やす取組を体育委員会を中心にに行った。

・異学年で外遊びを行う取組
（ドッチボール大会）

・鬼ごっこやドッチボールなどに教員が参加し、教員と児童の交流を図る中で体を動かす楽しさを伝えた。

（先生と遊ぶう）

・大休日に子供に人気の曲を流しながらグラウンドを走り、体力を高める取組
（ランランタイム）

○体力づくり研修で、楽しく体を動かす指導法を共有することで、全教職員で体育科の授業力向上を図った。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.71	23.20	32.90	47.80	62.50	9.24	158.80	27.29	59.65	第5学年	15.32	20.28	32.68	42.60	44.60	9.50	150.20	14.20	55.80

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.71	23.20	32.90	47.80	62.50	9.24	158.80	27.29	59.65	第5学年	15.32	20.28	32.68	42.60	44.60	9.50	150.20	14.20	55.80

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	90.48	4.76	4.76	0.00	第5学年	70.83	25.00	4.17	0.00

学校独自の意識調査

「休憩時間にはよく外で遊んでいますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童は73%、否定的な回答をした児童は27%であった。

重点課題

情意面での課題

「休憩時間にはよく外で遊んでいますか」という質問に対して、否定的な回答をした児童は27%であった。（1～6学年）

体力面での課題

男女ともに、「握力」「長座体前屈」において、県平均値より劣っている。

令和8年度の
重点目標値

○「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目に対して、否定的な回答をする児童の割合を15%未満を維持する。（今年度は10.4%）

○新体力テストの総合評価（AB-DE）率を40%以上を維持する。（今年度は46.7%）

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○授業の始めに鉄棒や雲てい等の遊具を使ったサーキットトレーニングを行う。
○運動が苦手な児童でも取り組めるようにリズムを使った心と体が弾むような準備運動を発案し、学校全体で取り組む。
○体育に関する指導者派遣事業（アクティブチャイルドプログラム）で学んだことを校内で共有し、授業で活用する。
○記録を計測する際は、過去の自分の記録や全国平均値を参考に目標値を定めることで意欲を高め、見通しをもった活動ができるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

○週に1回ロング昼休憩を設け、外遊びを習慣化できるようにする。また、朝休憩にもグラウンドを使用できるようにし、外遊びを奨励する。
○長期休業中に課題を設定し、親子で関わりながら運動を楽しむことができるようにする。
○体育委員が主体となり、外遊びを奨励する取組や、運動好きを増やす取組を企画する。
○体力づくり研修で、楽しく体を動かす指導法を共有することで、全教職員で体育科の授業力向上を図る。
○町内の体育主任と連携を深め、情報交換を行い、体力の向上を図る。